

防犯しゃくなげ

発行
公益社団法人福島県防犯協会連合会
福島市舟場町2番1号
福島県庁舟場町分館3F
☎024-573-0699
FAX 024-573-2833
<https://www.bouhanfukushima.com>
印刷 (株)民報印刷

みんなでつくろう 安心の街

年末年始の犯罪被害防止に努め、
明るい新年を迎えましょう!

令和2年の福島県は、新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえた緊急事態宣言の発令とそれに伴う不要不急の外出の自粛呼び掛けなどにより、県民の社会活動が停滞した状況もあり、犯罪の発生件数は引き続き減少傾向で推移しています。

一方、新型コロナウイルスに係る特別定額給付金や持続化給付金等に絡んだ詐欺や悪質商法等の犯罪が発生し、また、なりすまし詐欺被害は昨年同様の発生状況にあるなど、現状では、安全と安心を実感できるまでには至っておりません。さらに、インターネット環境の飛躍的な進展に伴い、SNS等に絡んで子供が巻き込まれる事件やトラブルが増加するなど課題の多い厳しい年末となっています。

年末年始の期間は、例年、金融機関、コンビニ等を狙った強盗事件等の発生が懸念されます。警察、自治体、各地区防犯協会、防犯ボランティア等の関係機関・団体、そして多くの県民の方の参加により積極的に防犯活動を展開し、安全で安心な、そして明るい年末年始となるよう取り組みましょう。

県民の皆様のご協力をお願いいたします。



令和元年 年末特別警戒



令和2年全国地域安全運動では県内各地区で工夫した活動が展開されました

令和2年全国地域安全運動は、10月11日(日)から20日(火)までの10日間にわたって実施され、犯罪のないより安全で安心して生活できる地域社会の実現に向けて県内各地区で広報活動等の各種活動が展開されました。

今年は、新型コロナウイルス感染症の拡大など厳しい社会情勢を踏まえて、県民大会(10/14郡山市)が中止となりましたが、県内各地区では、コロナ情勢を踏まえながら、感染拡大防止に配慮しつつ、工夫した活動が行われました。

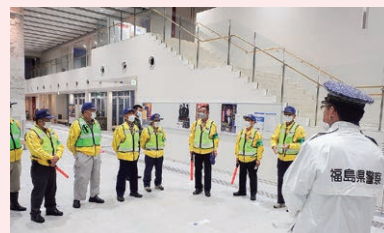
南相馬警察署及び南相馬地区防犯協会連合会では、感染拡大を踏まえて全国地域安全運動の出動式を見送ることとなりましたが、10月10日の南相馬地区防犯指導隊の防犯パトロールの実施を運動の合図として活動を開始しました。



防犯パトロールへ“出発”

県防連から防犯ボランティア活動支援策として貸出しを受けた青色回転灯や防犯パトロールマグネットシートを活用しつつ、車両による警戒活動を行ったほか、3班の徒歩部隊で南相馬市役所を中心に警戒を実施し、住民の安全と安心の確保に貢献しました。

昨年は、台風19号の影響で、今年は新型コロナウイルスの感染拡大により県民大会が連続で中止となりましたが、来年の積極的な活動を誓い合う防犯ボランティア団体の姿が各地で見られました。



南相馬地区防犯指導隊

地域安全標語

消せないよ 心のきずと そのしゃしん

各地区防犯協会・ボランティア団体の活動紹介



二本松市防犯協会成田支部（二本松市）

二本松市防犯協会成田支部（渡邊武夫支部長）では、安全で安心して暮らせる街づくりのため、役員を中心に、定期的に防犯パトロールやスパー等における万引き防止、なりすまし詐欺被害防止の呼びかけなどを行い、地域の安全・安心の確保と住民の防犯意識の高揚に貢献しています。



芳賀地区防犯協会（郡山市）

芳賀地区防犯協会は、昭和44年、郡山警察署芳賀交番管内の地域住民参加の下に発足し、交番や関係機関と連携しながら防犯パトロール・防犯診断を定期的実施しています。小学校の鼓笛パレードを始めとする学校行事、盆踊り大会、球技大会等で場外警備を行うほか、管内の防犯灯や空き家の点検等も実施し、地域住民の安全の確保に努めています。



小名浜西五区連防犯パトロール隊（いわき市）

小名浜西五区連絡協議会は、いわき市小名浜地区の「日立区、宮下区、東芳川区、西芳川区、渚区」の5区で組織されています。

地区内で声掛け事案等が発生したことを踏まえて、「地域の安全は自分たちの手で守ろう」を合い言葉に平成17年に小名浜西五区連防犯パトロール隊（約30名）を立ち上げました。隊では、毎月10日、20日に青パトによる下校時や夜間の防犯パトロールを効果的に実施し、地区の安全と安心に大きく貢献しています。

令和2年全国防犯功労者・防犯功労団体表彰

本年の全国防犯功労者・防犯功労団体に、防犯栄誉金章を受章された君島勝見氏（浪江町）を始め、次の方々が受章されました。

金章・銀章受章者の伝達式は、10月14日（水）、県警本部で行われ、和田薫県警察本部長から伝達されました。

防犯功労者（敬称略）

<防犯栄誉金章>

- 君島勝見
（浪江地区防犯指導隊隊員）

<防犯栄誉銀章>

- 千葉公元
（会津若松地区防犯指導隊一箕地区隊員）
- 菅野 豊（郡山北地区防犯協会連合会会長）

<防犯栄誉銅章>

- 緑川春男（防犯連絡所高野連絡会元顧問）
- 山崎敏雄（本宮市防犯協会岩根支部支部長）
- 荒川勝洋（相馬市西部地区防犯協会会長）
- 吉田重利（いわき東地区防犯協会連合会鹿島支部顧問）
- 飛田 充（田村地区防犯協会連合会理事）
- 近藤 徹（白河地区防犯指導隊西郷分隊長）



防犯功労ボランティア団体（敬称略）

- 大玉村大山防犯協力会（代表：伊藤一男）

～ おめでとうございます。

長年のご貢献に感謝申し上げます～

ガス点検等を装った強盗事件に注意!!

今年8月以降、首都圏を中心にガス点検、消防設備点検等を装って、数名の者で被害者宅に侵入し、被害者を縛り、現金や暗証番号を聞き出してキャッシュカードを奪う屋内強盗事件が発生しています。

突然訪問するもの、事前に電話で自宅に現金があることを聞き出すもの、業者を装って侵入してから暴行を加えるもの、インターフォン越しに断っても強引に侵入するものなど様々です。

模倣性が高く、全国的な発生が懸念されますので注意してください。

● 注意点

- 警察官、点検業者等をかたって資産状況を聞き出すような電話には絶対に応じてはいけません。
- 資産状況を聞いてきた電話には、かたった者の勤務先に事実確認をしてください。
- 点検業者をかたる者が自宅を訪れた場合は、ドア（玄関）越しに身分確認を徹底してください。
- 在宅時でも施錠を徹底してください。

現金はどこだ？ 暗証番号は？

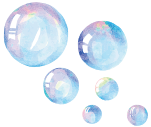


令和2年度 地域安全作文コンクール 審査結果

「令和2年度地域安全作文コンクール」の審査が行われ、入選作品が決定しました。入選者には、各警察署を通じて福島県防犯協会連合会長表彰が授与されました。今年の応募数は、小学生107点、中学生629点 計736点と新型コロナウイルスの感染が拡大する厳しい情勢の中で多数の応募をいただきました。いずれの作品も小・中学生らしい純粋で地域の安全に対する熱い思いが感じられる作品でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

小学生の部 入選者

(敬称略)



中学生の部 入選者

(敬称略)



最優秀 安全なぼくの自まんの町
優 秀 みんなでつくる安心の街
優 秀 町の人への感謝を忘れない
優 秀 チームワークでまもる地いきの安全
佳 作 毎日安心、安全な通学路
佳 作 安全な町づくり
佳 作 ありがとう見守り隊のみなさん
佳 作 「安心」「安全」への道
佳 作 安全の裏の努力
佳 作 私が住む町玉川

最優秀 敬礼
優 秀 魔法の言葉「挨拶」
優 秀 高い意識を持って行動する
優 秀 私たちを見守る沢山の目と地域の絆
佳 作 日常生活に潜む犯罪
佳 作 SNSと上手に付き合う
佳 作 一人一人の思いやりでつくる安心な町
佳 作 SNS関連の犯罪について
佳 作 安心・安全な地域をつくるために
佳 作 地域の安全を守る活動

上野 悠真 (会津若松市立城南小学校4年)
西田 大葵 (会津若松市立一貫小学校6年)
遠藤 陽菜 (いわき市立小川小学校6年)
佐藤 快 (いわき市立泉北小学校4年)
荒井 茉優 (二本松市立二本松北小学校5年)
岡部陽菜梨 (郡山市立行健小学校6年)
瀬織 希美 (白河市立みさか小学校4年)
新沼 千咲 (小野町立小野小学校6年)
清水 紅和 (喜多方市立関柴小学校6年)
箭内ひより (いわき市立小名浜第三小学校6年)

須田 琴菜 (須賀川市立第二中学校2年)
永沼 理子 (石川町立石川中学校2年)
齋藤 和哉 (喜多方市立第二中学校1年)
大平真結子 (いわき市立草野中学校3年)
菅野 里汐 (福島市立蓬萊中学校2年)
永塚 大雅 (桑折町立釧芳中学校2年)
古川 遼 (郡山市立郡山第二中学校1年)
石田茉莉亜 (郡山市立日和田中学校2年)
石井 日菜 (田村市立常葉中学校1年)
根本 芽衣 (いわき市立小名浜第二中学校3年)

最優秀作品 (中学生の部)

敬礼

須賀川市立第二中学校2年 須田 琴菜

会ったことのない曾祖父は消防士だったという。兵役を終え帰国した後、家族や地域を守る仕事をしたい、とその仕事についたと聞いている。だからなのか、私は消防士さんやお巡りさんに、周りの友達が持つより少しだけ多く親近感と敬意を感じていると思う。

私は呼びかけの消防車や、パトカーに出会うと、迷惑にならないように気を付けながら敬礼をすることにしていった。時々、答礼を返してくださることもあり、その時はついつい顔がほころぶ。そんな私を友達は、ヘンな琴菜、と笑う。どうしてそれが嬉しいの？ 私は考えてみた。地域を見守ってくださっていることに対する、私の感謝が伝わったから？ 勿論それもある。でも、それだけでないような気もして答えは見つからないでいた。

学校の授業で、先生に「地域に貢献してみて。今の安全な暮らしが続くように。」と言われたことを思い出す。私たちにできることは何だろう。先生方はおっしゃる。積極的に地域の行事に参加すること、それから挨拶をすること。それがあなたにできる、安全なまちづくりですよ。きっと大事なことは地域の一員であることなのだろうと思った私は挨拶から始めることにした。すれ違う人に挨拶をする。無視されたときは少しへこむが、だからと言ってそれが挨拶をやめる理由にはならなかった。

ある、お祭りの日の夕方だった。出店を楽しんでいた私は小さな女の子が泣きながら歩いているのを見た。周りの大人の人たちが心配して手を取ろうとするが、怯えもあるのか女の子は手を引っ込めて泣き続けている。私

も近くに行ってどうしたの、と声をかける。すると彼女は、ママがいないの、と私に返事をしたのだ。私は周りの大人の人にそれを伝え、数分後、無事にお母さんがやってきた。彼女が周りの人に礼を述べると、人々は口々に、このお姉ちゃんだけにはお話ししてくれたんですよ、と言った。母親が理由をきくと元気になった女の子は小さな声で言った。「前にこんにちわしたことあったから。」それを聞いて私は嬉しくなった。私の挨拶運動が、彼女から助けを求める言葉を引き出せたと思ったからだ。そして気づいた。挨拶の持つ力は地域の安全に確かに役立っていることと、私がお巡りさんや消防士さんに答礼をいただくとどうしてあんなに嬉しいのか。それは、安全に暮らせる地域を守るため、一緒に頑張ろうと言ってもらっている気がするからだ。地域の一人として認められ、励まされている気がするからだ。

今日も、これからも私は元気に挨拶をする。ちょっとおこがましいけれど、地域を守る「仲間」としてパトカーや消防士に敬礼もしたい。そして、会ったことのない曾祖父にもそっと心の敬礼をするのである。



《補導員の手記》

よりどころを探す子供たち

私が事案を通して子供から話を聞く中で、「この子も同じことを感じていたのか」と思う共通の叫びがあります。

それは、「お父さんやお母さんに話したかったけど、誰も話を聞いてくれなかった」という言葉です。

この言葉は、家出して保護された子供から悲しくこぼれ出すことが多くありました。

私は、子供たちに「自分の話を聞いてほしい」という根っここの気持ちが共通しており、本当は、最も信頼する「家族に聞いてほしい」という思いを持っていると強く感じるのです。

子供たちはいつも純粋な気持ちで、本音を真正面から聞いて受け入れてくれる相手を探しています。

しかし、敏感であるがゆえ、家庭内の会話の減少などをきっかけに、本心を隠し、本来なら家庭にあった心のよりどころを家庭以外の世界に求めることは少なくありません。

保護者の方々には、なぜ子供たちは、そこによりどころを求めたいのか、何をどう見て感じているのか、同じ目線になって理解してほしいと思います。

そして、子供たちにとって、家庭が一番安心できる受け皿になるよう、子供たちの世界を一緒に見て、真正面から思いを聞き、感じたこと、そして子供たちが唯一無二の大切な存在であることを直接伝えてほしいと思います。



また、インターネット等が普及した結果、子供たちの有り余る感情の受け皿がますます増加・多様化し、子供たちが自由に選択できるようになりました。

福島県警察本部少年課

副主任少年警察補導員

塚村 理恵子



しかし、それは、見たものをそのまま信じる純粋な子供たちにとっては、対策なしでは非常に危険な世界と化しています。

日々複雑化するインターネット等に苦手意識を持つ方も少なくないと思いますが、私はインターネット空間において子供たちを守る鍵こそ、日常生活にあり、その重要度は高まっていると感じています。

我々大人でさえ、日常生活において、目の前の人の意思を正確に理解することは難しく、まして、匿名性の高いインターネット空間では、純粋な子供たちが、画面を通して出会う相手の本当の気持ちを理解することは困難なことです。

さらに最悪なことに、その空間は悪意を持つ人がその特性を利用し「どうやれば子供は自分の期待する行動をとってくれるか」と考えて仮面をかぶり、無防備な子供たちに本性を見られずに近づくことができる危険地帯にもなりうるのです。

しかし、子供たちが家庭の中に居心地の良さや楽しさを感じてさえいれば、自らインターネット空間の危険地帯に飛び込んでまで、よりどころを探すことは防げると思います。

子供たちが、知らず知らずのうちに悪意を持つ人と対峙した時、相手の思惑になびかず、道に迷わないようにするには、家庭が子供たちの心を驚づかみにして離さないような強靱な信頼関係を築くことが重要で、それは時代が変化しても揺るがないものであると思います。

常に子供たちが求めているのは、「心のよりどころ」と「対話」であり、本心から求めている一番の相手は「画面を通じた見知らぬ人」ではなく、どんな時でも「目の前で話を聞いてくれる家族」なのです。

なりすまし詐欺の被害が昨年より増加しています。自分は**大丈夫と思っている人**が**被害**に遭っています。家族や周囲の人で声を掛け合い、詐欺被害を防止しましょう。

Topics 電話で「キャッシュカード」の話が出たら 詐欺!!

預貯金詐欺及びキャッシュカード詐欺盗の手口のとおり、警察官等をかたる者から電話で「キャッシュカード」の話が出たら詐欺の可能性大!

留守番電話機能の活用や「**キャッシュカードは渡さない! 暗証番号は教えない!**」ことが被害防止のポイントです。



カクニンジャー福くん

「福島県自転車防犯登録推進協会」からのお願い

必ずしましょう!! 自転車防犯登録

自転車防犯登録は、法律で義務づけられています。自転車防犯登録は、自転車盗難被害の防止とともに、被害回復に役立ちます。

購入や譲り受けた際は**新規防犯登録**を、**廃棄や人に譲った際は抹消登録**をしましょう。

手続きの詳細は、福島県防犯協会連合会のホームページをご覧ください。



賛助会員募集中

公益社団法人 福島県防犯協会連合会では、より充実した活動を行うため、賛助会員を募集しています。

寄附金や賛助会費は、税制上の優遇措置を受けることができます。皆様のご協力をお願いいたします。入会手続きの詳細は、当連合会のホームページ (<https://www.bouhanfukushima.com>) をご覧ください。

賛助会員証



地域安全標語

ネットでも 見えない相手へ 思いやり